

イスターカーテン だんねーざ 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

■工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

———目次———

□施工上の注意事項	P 2
□必要工具の確認	P 2
□基本納まり	P 3
□梱包内容	P 4
□取り付け手順	P 5
1 納まりガイドの取付	P 6
2 扉の吊込み	P 6～15
■ 扉の構成	P 6
■ 扉の吊込み準備	P 7
■ 上枠のガイドレール取外し(直線の場合)	P 7
■ 上枠のガイドレール取外し(直線NRの場合)	P 8
■ 上枠のガイドレール取外し(曲線の場合)	P 9
■ 扉の吊込み(Aタイプ)	P 10
■ 扉の吊込み(Bタイプ)	P 11
■ 上枠のガイドレール取り付け(直線の場合)	P 12
■ 上枠のガイドレール取り付け(直線NRの場合)	P 13
■ 上枠のガイドレール取り付け(曲線の場合)	P 14
■ 扉の連結	P 15
3 落としボの取り付け	P 16
4 吊元ストッパーの調整	P 17～18
■ 吊元ストッパーの調整ラベル	P 17
■ 吊元ストッパーの位置	P 17
■ 吊元ストッパーの取り付け	P 18
5 ねじ止め禁止ラベルの取外し	P 18
□施工後の点検	P 19

□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取り除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 扉本体は重いので、二人以上で扱うなど、施工には十分ご注意ください。
- ⑦ 施工後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

□必要工具の確認

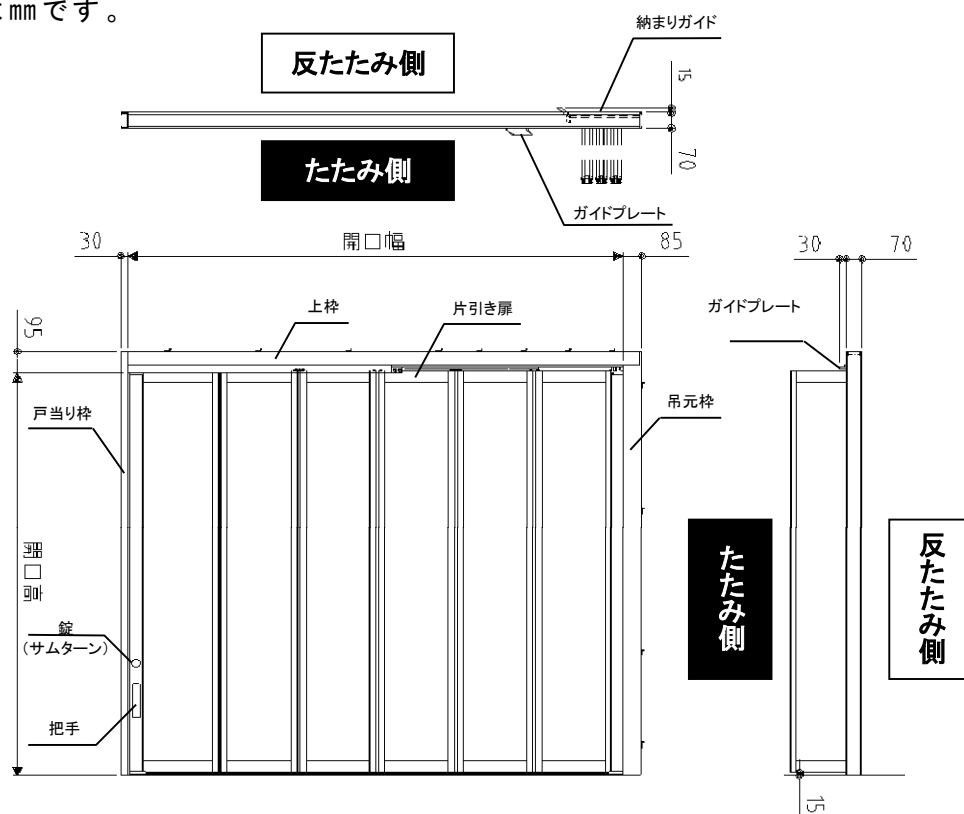
(+)手動ドライバー	延長コード(3芯アース、ブレーカー付き)
カッター	ハンマー
電動インパクト	木片
プライヤー	スケール
振動ドリル(ハンマードリル)	水準器
コンクリート用キリ: $\phi 6$, $\phi 14$	脚立・足場板

□基本納まり

[片引き]

本図は、片引き:右勝手を示す。

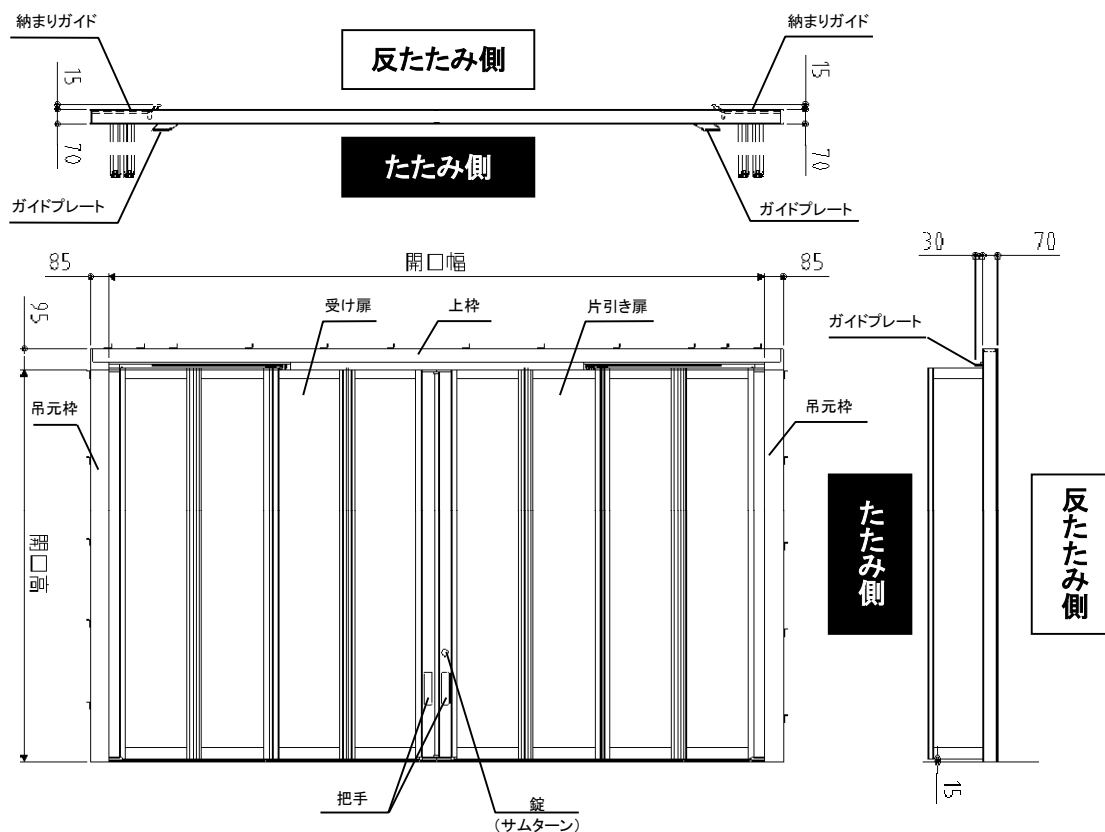
※寸法単位はmmです。



[引分け]

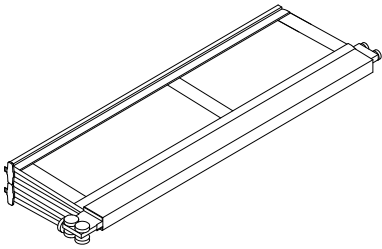
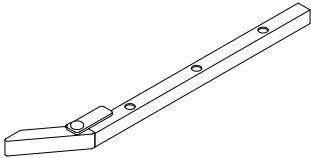
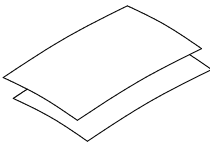
本図は、引分けの場合を示す。

※寸法単位はmmです。

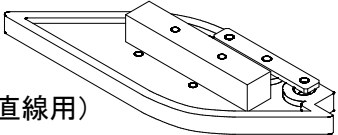
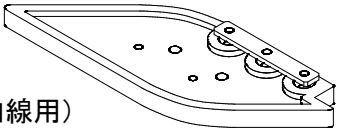
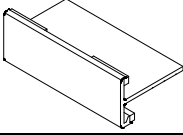
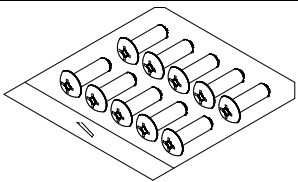
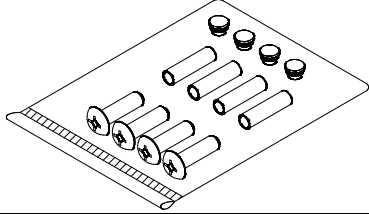
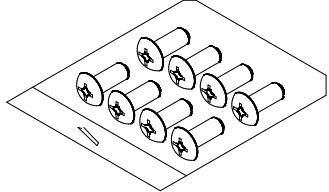
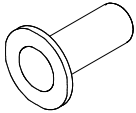


□ 梱包内容

扉梱包内容 ※扉1セット分の梱包内容を示す。

品名	形状	個数	備考
扉		必要数	
納まりガイド		1本	
扉 取付説明書		1セット	吊元になる扉に同梱
取扱説明書			

同梱部品(附属部品箱入り)

ガイドプレート	 (直線用) 又は  (曲線用)	1個	・個数は、附属部品箱に記載 ・ガイドプレートは、 <u>どちらか一方のみ同梱</u>
吊元ストッパー		2個	
吊元ストッパーネジセット1		10本	吊元ストッパー取り付け用 (+)小ねじトラスM4×20 袋詰め(予備:2本含む)
納まりガイド部品セット1		4本	(+)丸木ねじ φ4. 1×25
		4本	カールプラグ 6×25
		4個	ホールカバー
扉連結ネジセット		必要数	扉連結取り付け用 (+)タッピンねじトラス 袋詰め
落としボ1		必要数	袋詰め

□ 取り付け手順

施工は、以下の手順でおこなってください。

1 納まりガイドの取り付け

2 扉の吊込み

- 扉の構成
- 扉の吊込み準備
- 上枠のガイドレール取外し(直線の場合)
- 上枠のガイドレール取外し(直線NRの場合)
- 上枠のガイドレール取外し(曲線の場合)
- 扉の吊込み(Aタイプ)
- 扉の吊込み(Bタイプ)
- 上枠のガイドレール取り付け(直線の場合)
- 上枠のガイドレール取り付け(直線NRの場合)
- 上枠のガイドレール取り付け(曲線の場合)
- 扉の連結

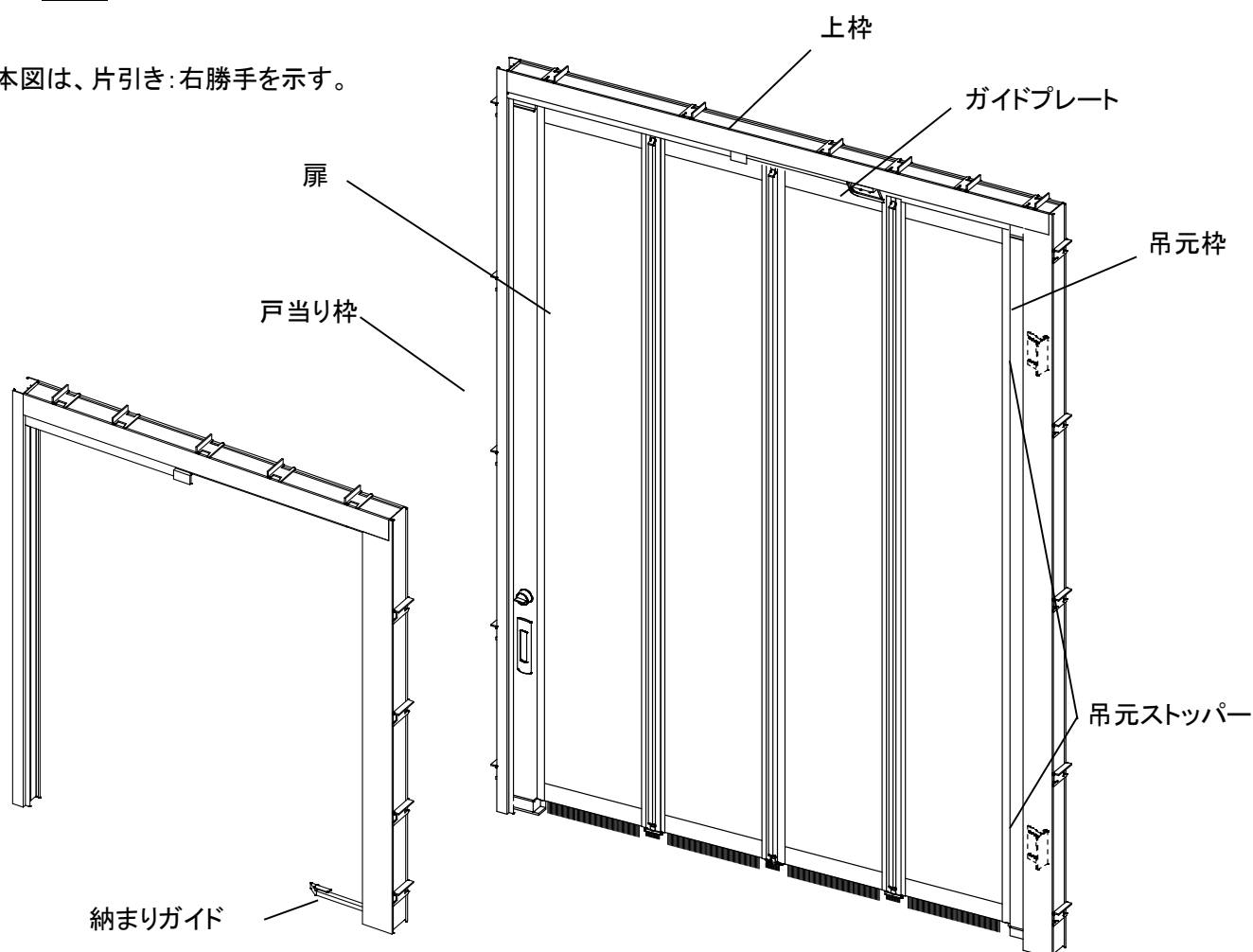
3 落としツボの取り付け

4 吊元ストッパーの取り付け

- 吊元ストッパーの調整
- 吊元ストッパーの位置
- 吊元ストッパーの取り付け

5 ねじ止め禁止ラベルの取外し

本図は、片引き:右勝手を示す。

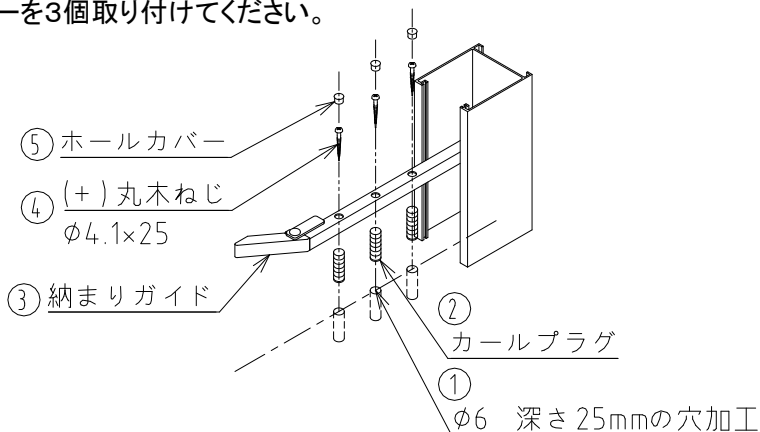
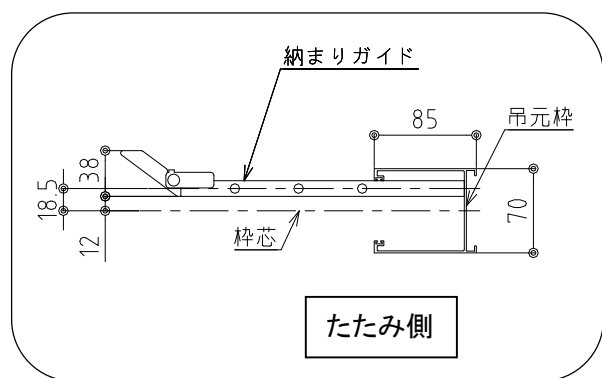


1 納まりガイドの取り付け

取り付け位置は、基準墨（枠芯）より正確に位置出しする。
納まりガイドは本体下部をガイドする機能を持ちますから、
ガタツキなどがないように確実に取り付けてください。

● 図 ①～⑤ の順に正確に取り付けてください。

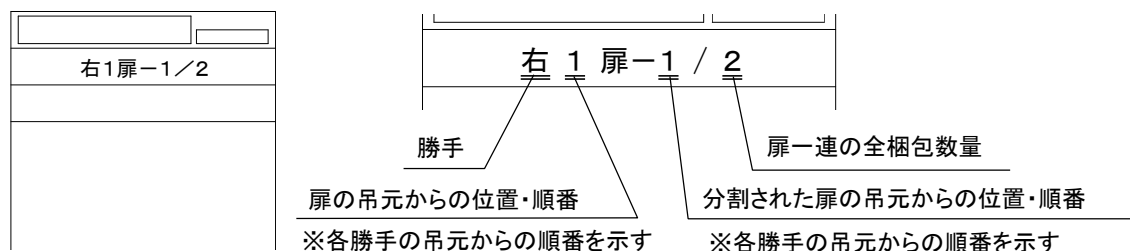
- ① 納まりガイドを下图記載の寸法にて取り付け穴加工位置を出し、 $\phi 6$ のキリにてカウンター面に深さ25mm以上の穴を3カ所開けてください。
- ② 穴にカールプラグを3本差込んでください。
- ③ 納まりガイドを取り付け位置に設置してください。
- ④ (+)丸木ねじ $\phi 4.1 \times 25$ 3本にて納まりガイドを固定してください。
- ⑤ 納まりガイドの穴加工位置にホールカバーを3個取り付けてください。



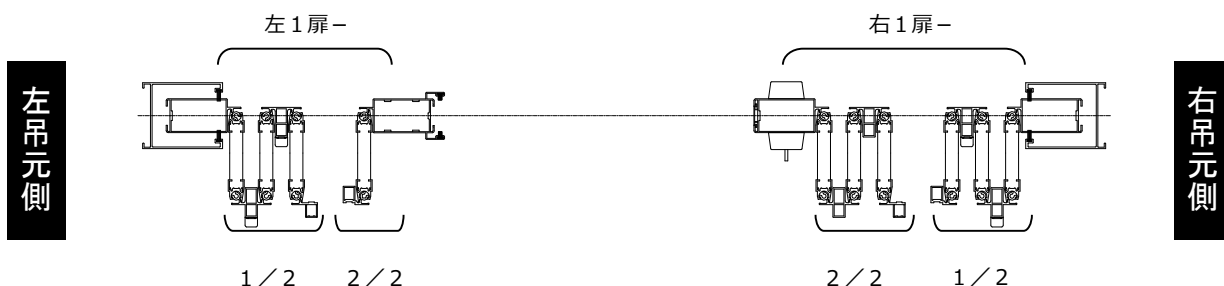
2 扉の吊込み

■扉の構成

扉は仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、扉の配置を確認してください。
吊元枠に近い扉から吊込む仕様になっています。



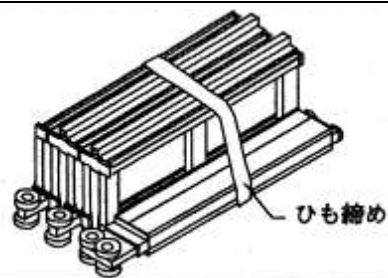
【引分け2連(1+1連)の場合の表記例】



■扉の吊込み準備

・扉をたたみ、ひも等で仮締めしてください。

注意 扉を傷つけないように注意してください



■上枠ガイドレール取外し(直線の場合)

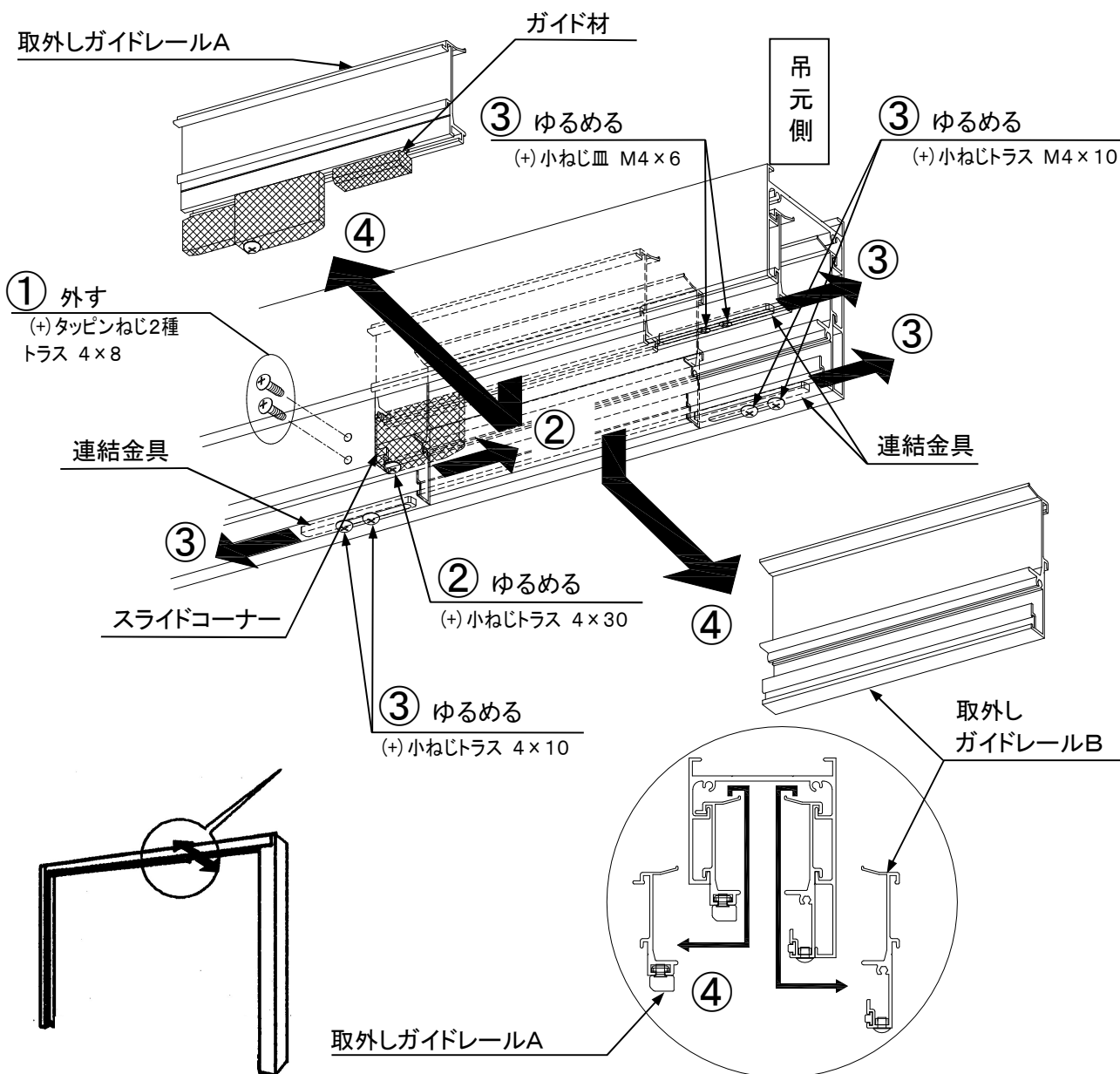
① スライドコーナーを取り付けている、正面の (+) タッピンねじ2種トラス 4×8 2本 を取外します。

注意 (取外したねじは、再び使用するので、紛失しないように注意してください。)

② スライドコーナーを取り付けている、下方向からの (+) 小ねじトラス M4×30 1本をゆるめて、ガイド材の方向に30mmほどスライドさせます。

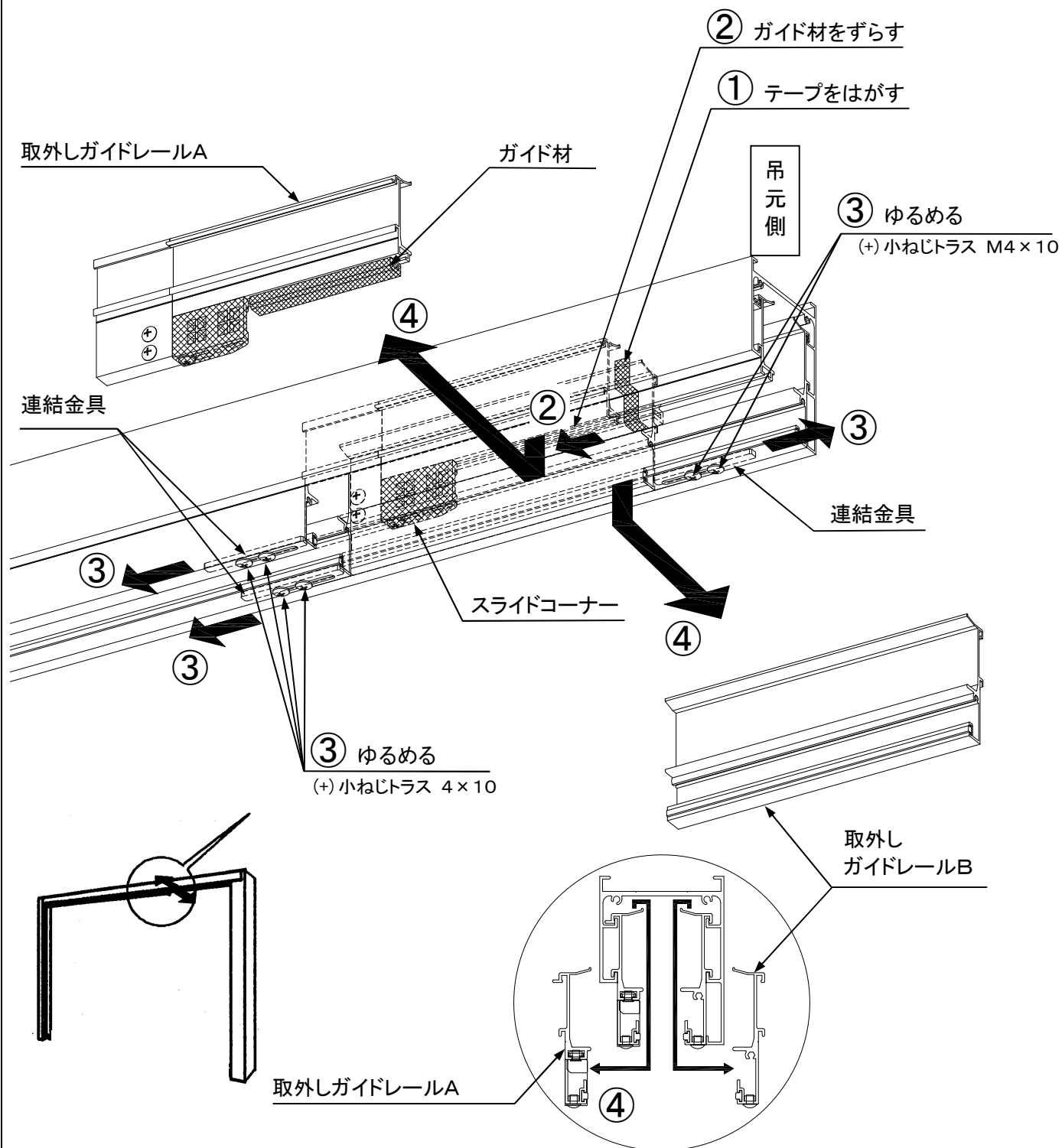
③ 連結金具の (+) 小ねじトラス M4×10 2本と (+) 小ねじ皿 M4×6 2本をゆるめて、連結金具をそれぞれ、上枠に収納するようにスライドさせます。(3ヶ所)

④ 取外しガイドレールAとBを取外します。



■上枠ガイドレール取外し(直線NRの場合)

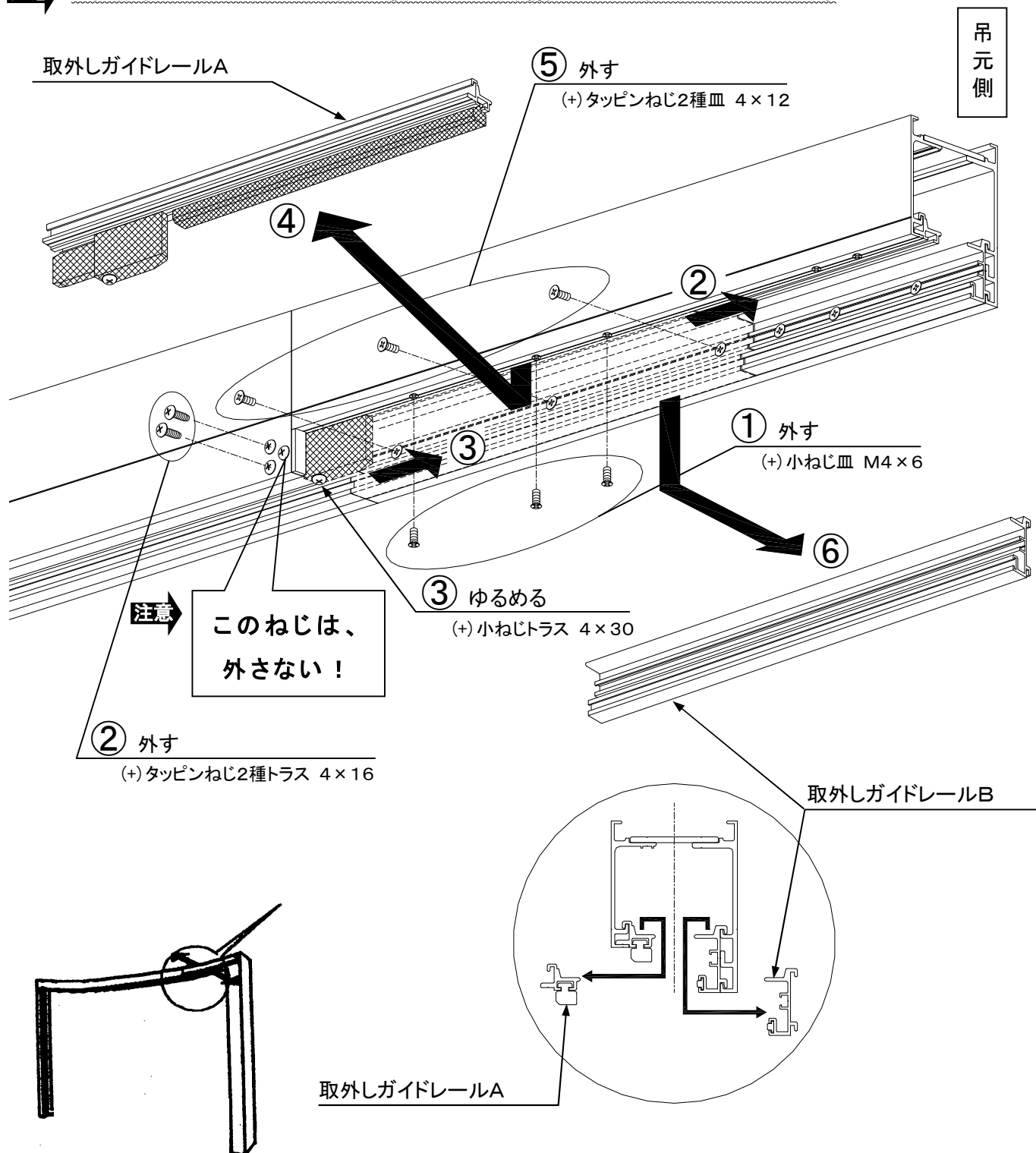
- ① ガイド材を固定しているテープをはがします。
- ② ガイド材をガイド材が取外しレールAに全て納まるまでスライドコーナーの方向にスライドさせます。
- ③ 連結金具の (+) 小ねじトラス M4×10 6本をゆるめて、連結金具をそれぞれ、上枠に収納するようにスライドさせます。(3ヶ所)
- ④ 取外しガイドレールAとBを取外します。



■上枠ガイドレール取外し(曲線の場合)

- ① 取外しガイドレール部取り付けの (+) 小ねじ皿 M4×6 3本を取外します。
- ② スライドコーナーを取り付けている、正面の (+) タッピンねじ2種トラス 4×16 2本を取外します。
注意 (スライドコーナー側の (+) タッピンねじ2種トラス 4×8 は、外さない。)
- ③ スライドコーナーを取り付けている、下方向からの (+) 小ねじトラス M4×30 1本をゆるめて、ガイド材の方向に30mmほどスライドさせます。
- ④ 取外しガイドレールAを取外します。
- ⑤ もう一方の取外しガイドレールBを取り付けている (+) タッピンねじ2種皿 4×12 3本を取外します。
- ⑥ 取外しガイドレールBを取外します。

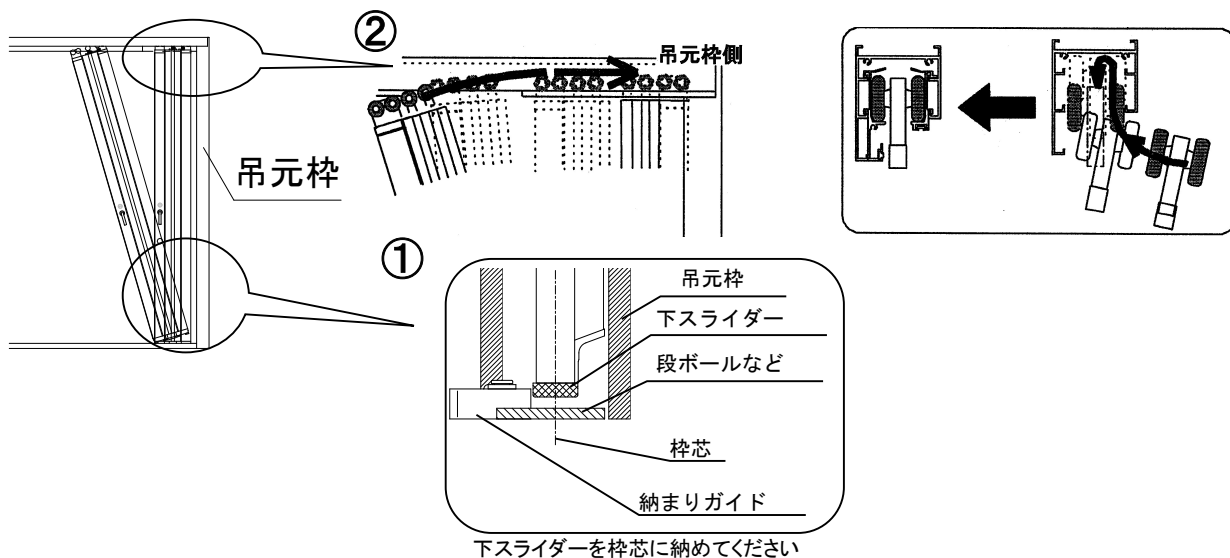
注意 上記作業にて取外したねじは、再び使用するので、紛失しないように注意してください。



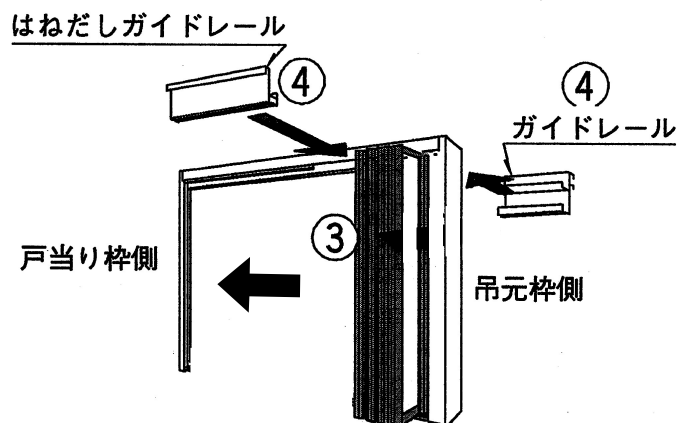
■扉の吊込み(Aタイプ)

注意 扉の吊込み手順が吊込みBタイプ(P11参照)になる場合があります。

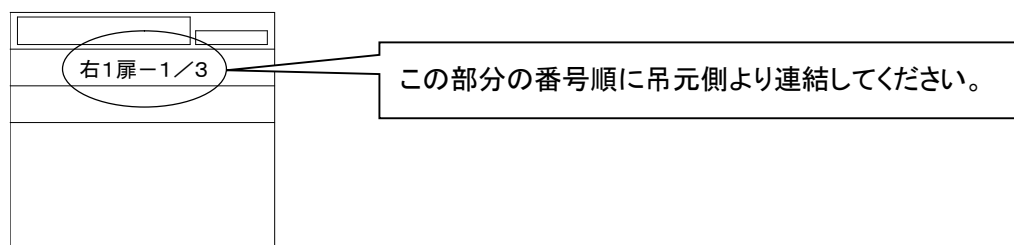
- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。
- ②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし、図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起こして吊込んでください。



- ③ 扉を全部吊元枠側に吊込んでください。



注意 扉がジョイントの場合は、梱包箱に分数表示がされているので、順番に吊元枠側に吊込んでください。



- ④ 取外しガイドレールは、P13又は、P14に習って取り付けてください。

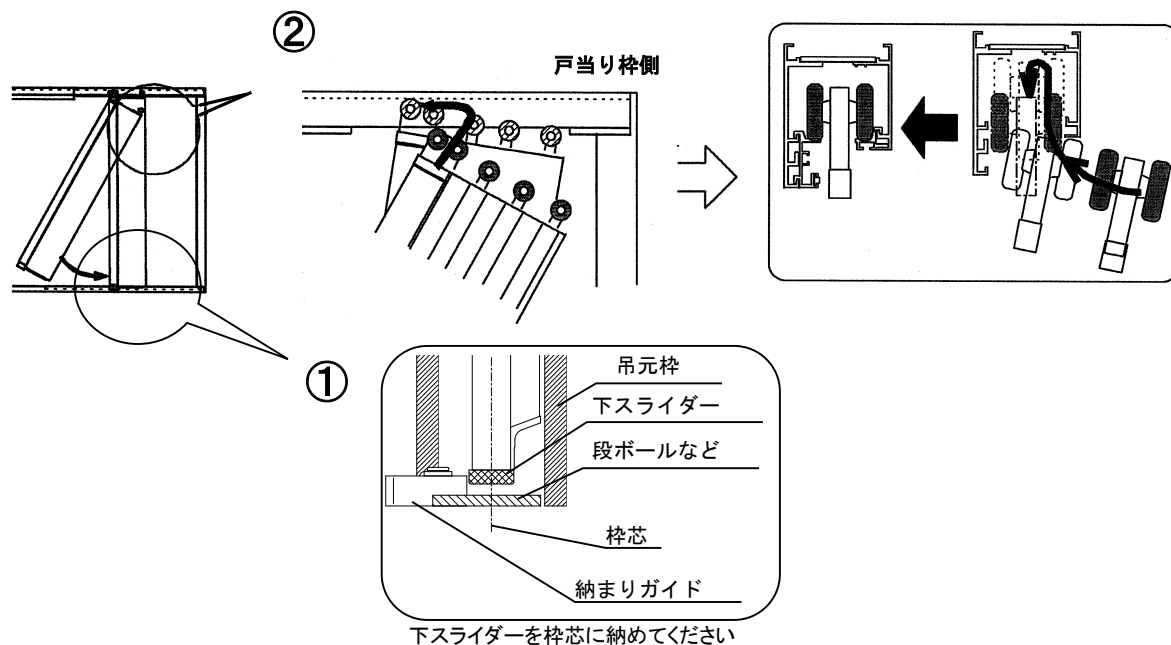
注意

引分けの場合は、左右の扉をそれぞれ吊元側より吊込んでください。

■扉の吊込み(Bタイプ:曲線タイプのR納まりでR<2500の場合)

①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。

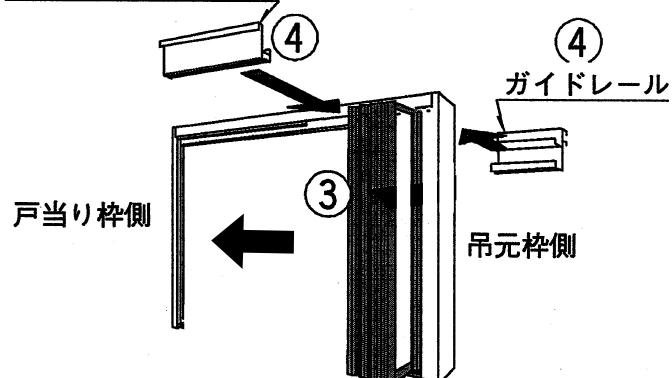
②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし、図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起こして吊込んでください。



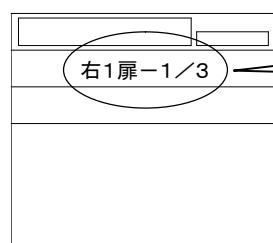
③ 扉を全部吊元枠側の上枠に吊込んでください。

④ 取外しガイドレールは、P13又は、P14に習って取り付けてください。

はねだしガイドレール



注意 扉がジョイントの場合は、梱包箱に分数表示がされているので、順番に吊元枠側に吊込んでください。



この部分の番号順に吊元側より連結してください。

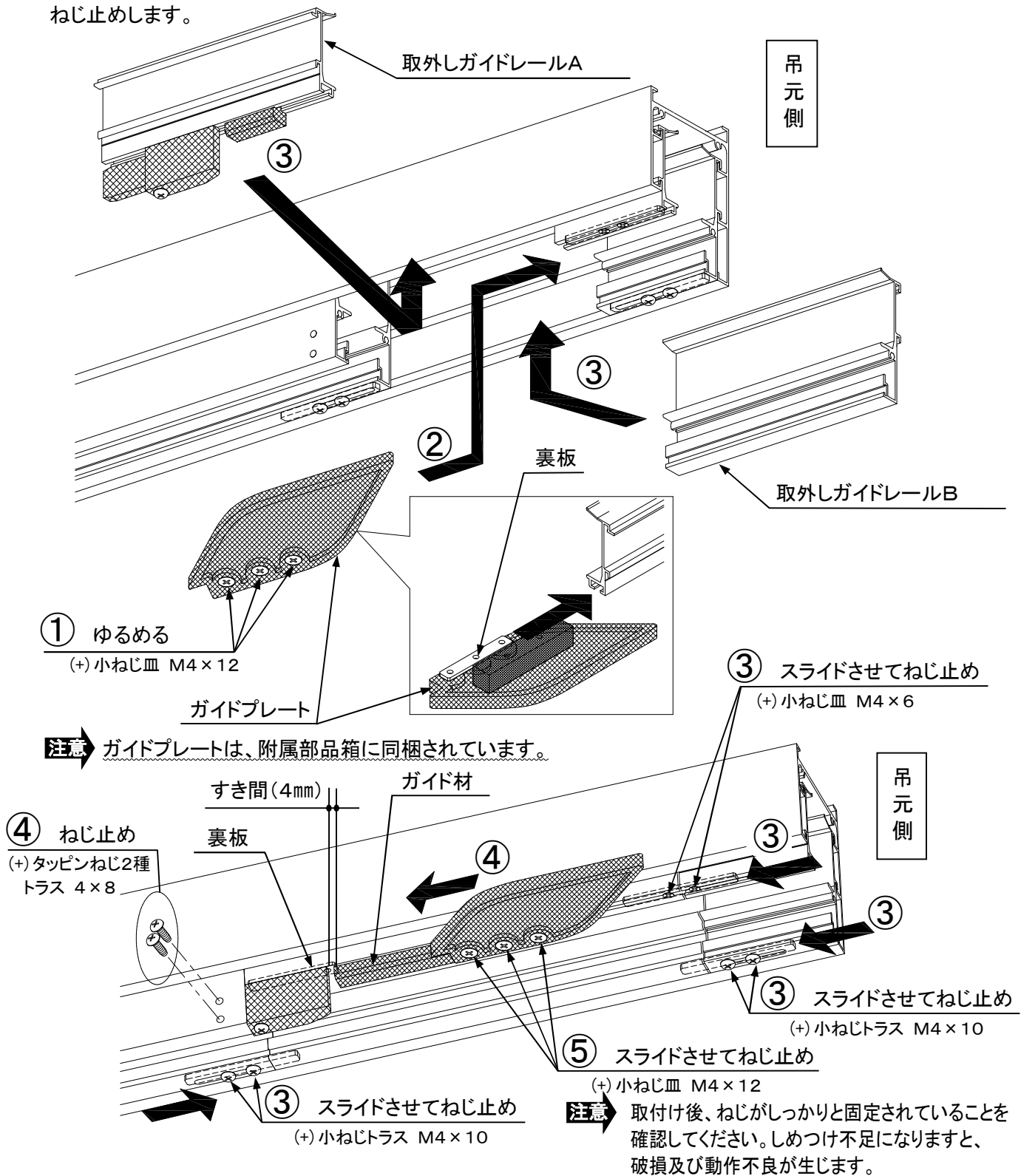
注意

引分けの場合は、左右の扉をそれぞれ吊元側より吊込んでください。

■上枠ガイドレール取付(直線の場合)

扉の吊込みをおこなってから、取り付け作業をおこなってください。

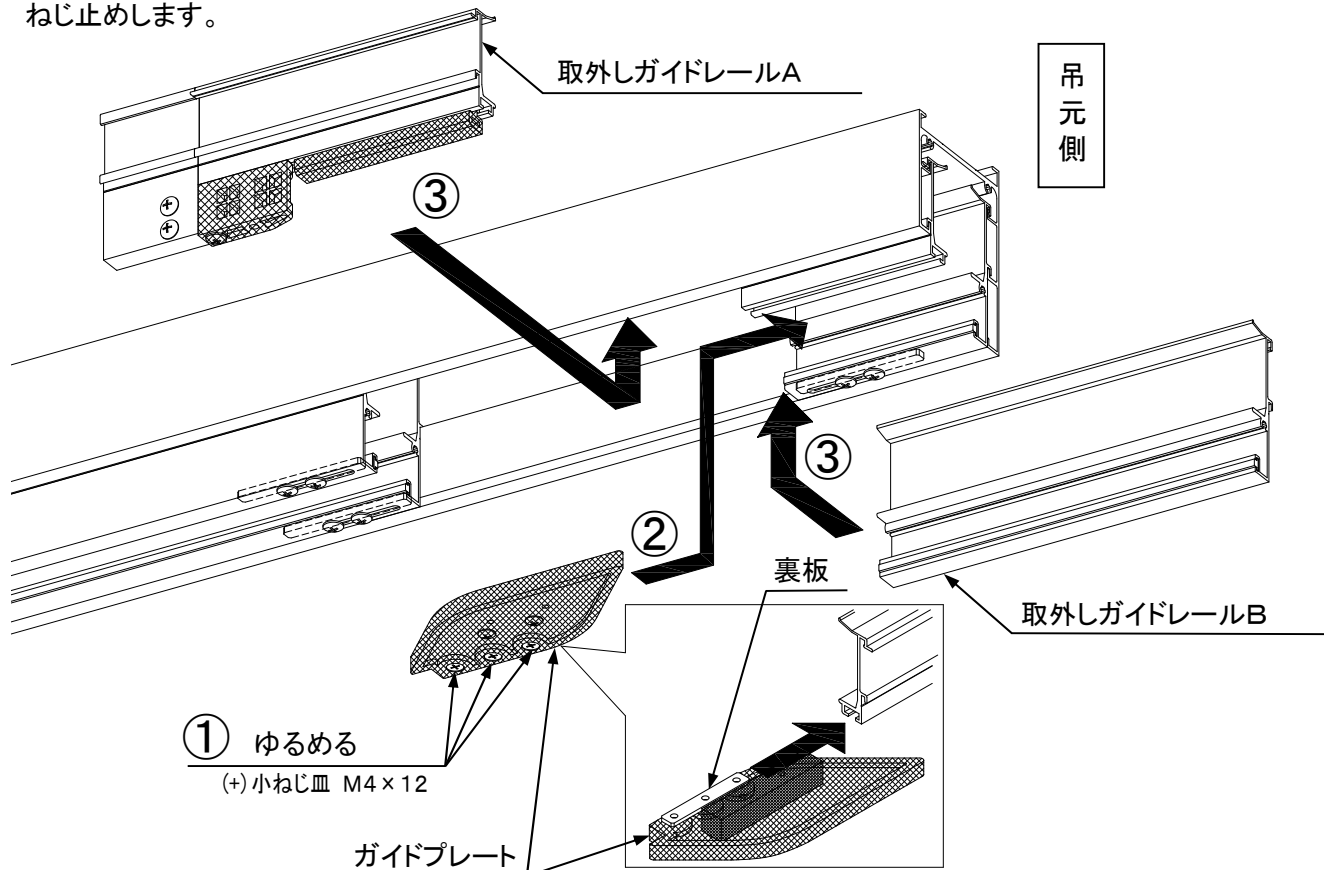
- ① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+) 小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。
- ② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、吊元側にスライドさせます。
- ③ 取外したガイドレールを取外し作業の逆の順番で取り付けます。
- ④ スライドコーナーを (+) タッピンねじ2種トラス 4×8 2本にて取り付けた後、ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当るまでスライドさせます。(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)
- ⑤ ガイドプレートをガイド材に当たるまでスライドさせ、ガイドプレート固定の (+) 小ねじ皿 M4×12 3本にてねじ止めします。



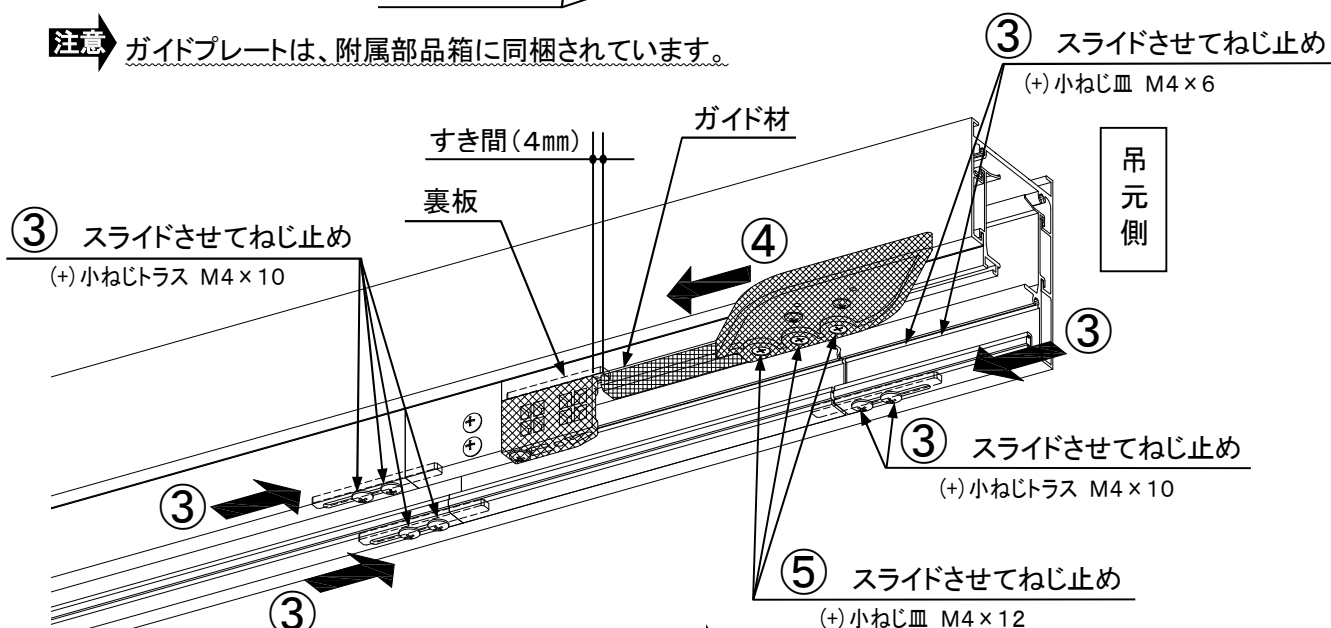
■上枠ガイドレール取り付け(直線NRの場合)

扉の吊込みをおこなってから、取り付け作業をおこなってください。

- ① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+)小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。
- ② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、吊元側にスライドさせます。
- ③ 取外したガイドレールを取外し作業の逆の順番で取り付けます。
- ④ ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当たるまでスライドさせます。(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)
- ⑤ ガイドプレートをガイド材に当たるまでスライドさせ、ガイドプレート固定の (+)小ねじ皿 M4×12 3本にてねじ止めます。



注意 ガイドプレートは、附属部品箱に同梱されています。



注意 取付け後、ねじがしっかりと固定されていることを確認してください。しめつけ不足になりますと、破損及び動作不良が生じます。

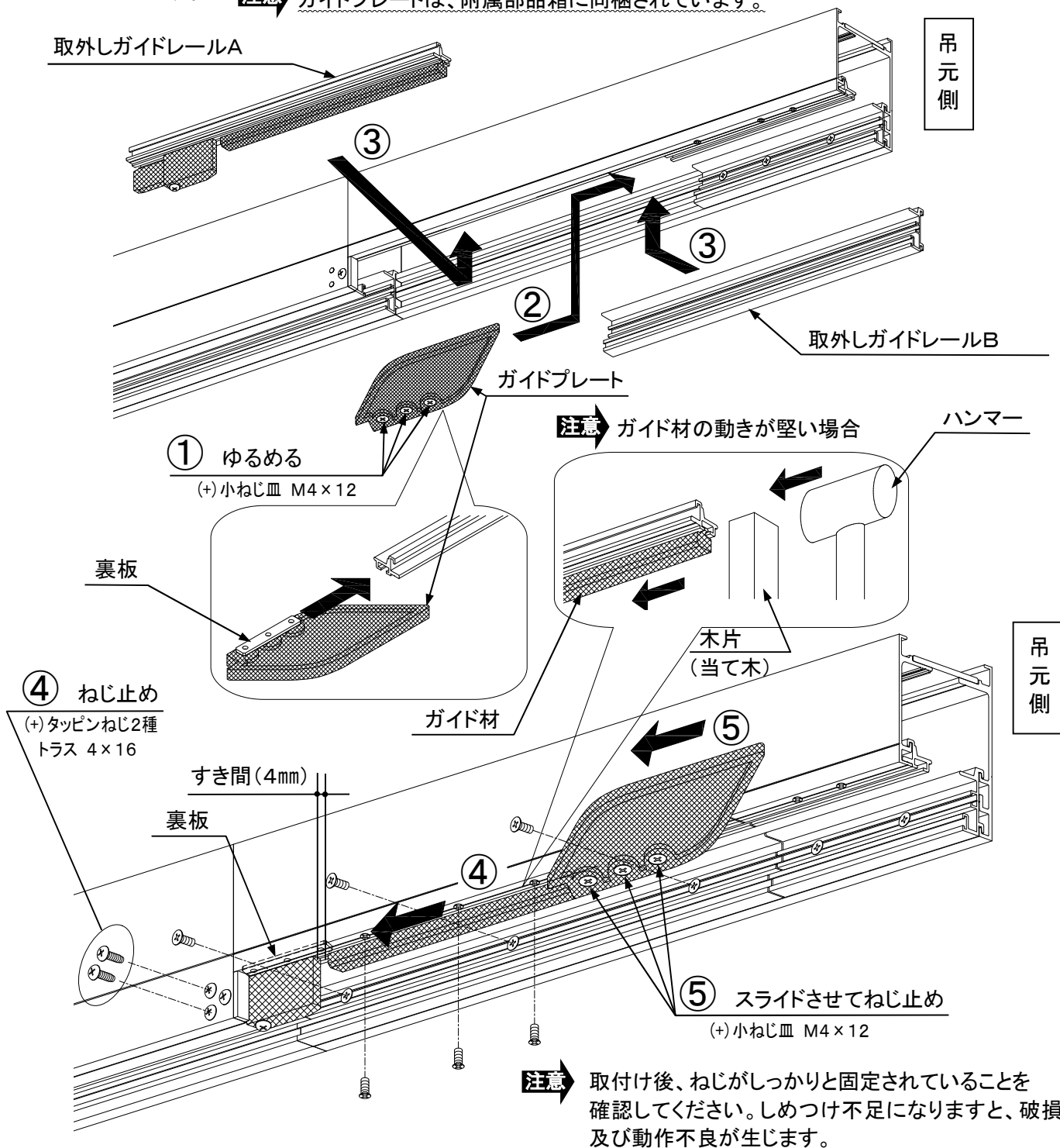
■上枠ガイドレール取り付け(曲線の場合)

扉の吊込みをおこなってから、取り付け作業をおこなってください。

- ① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+) 小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。
- ② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、吊元側にスライドさせます。
- ③ 取外したガイドレールを取外し作業の逆の順番で取り付けます。
- ④ スライドコーナーを (+) タッピンねじ2種トラス 4×16 2本にて取り付けた後、ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当たるまでスライドさせます。(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)

注意 ガイド材をスライドさせる際に、動きが非常に堅い場合があるので、ガイド材を傷つけないように木片などで当て木をし、ハンマーなどでたたき、スライドさせてください。

- ⑤ ガイドプレートをガイド材に当たるまでスライドさせ、ガイドプレート固定の (+) 小ねじ皿 M4×12 3本にてねじ止めします。 **注意** ガイドプレートは、附属部品箱に同梱されています。



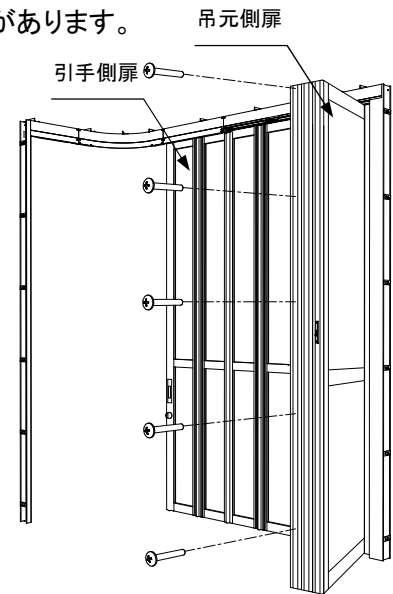
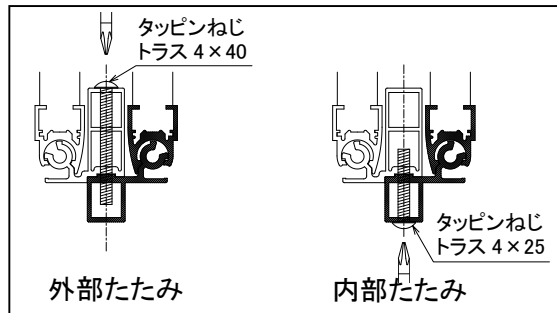
■ 扉の連結

注意

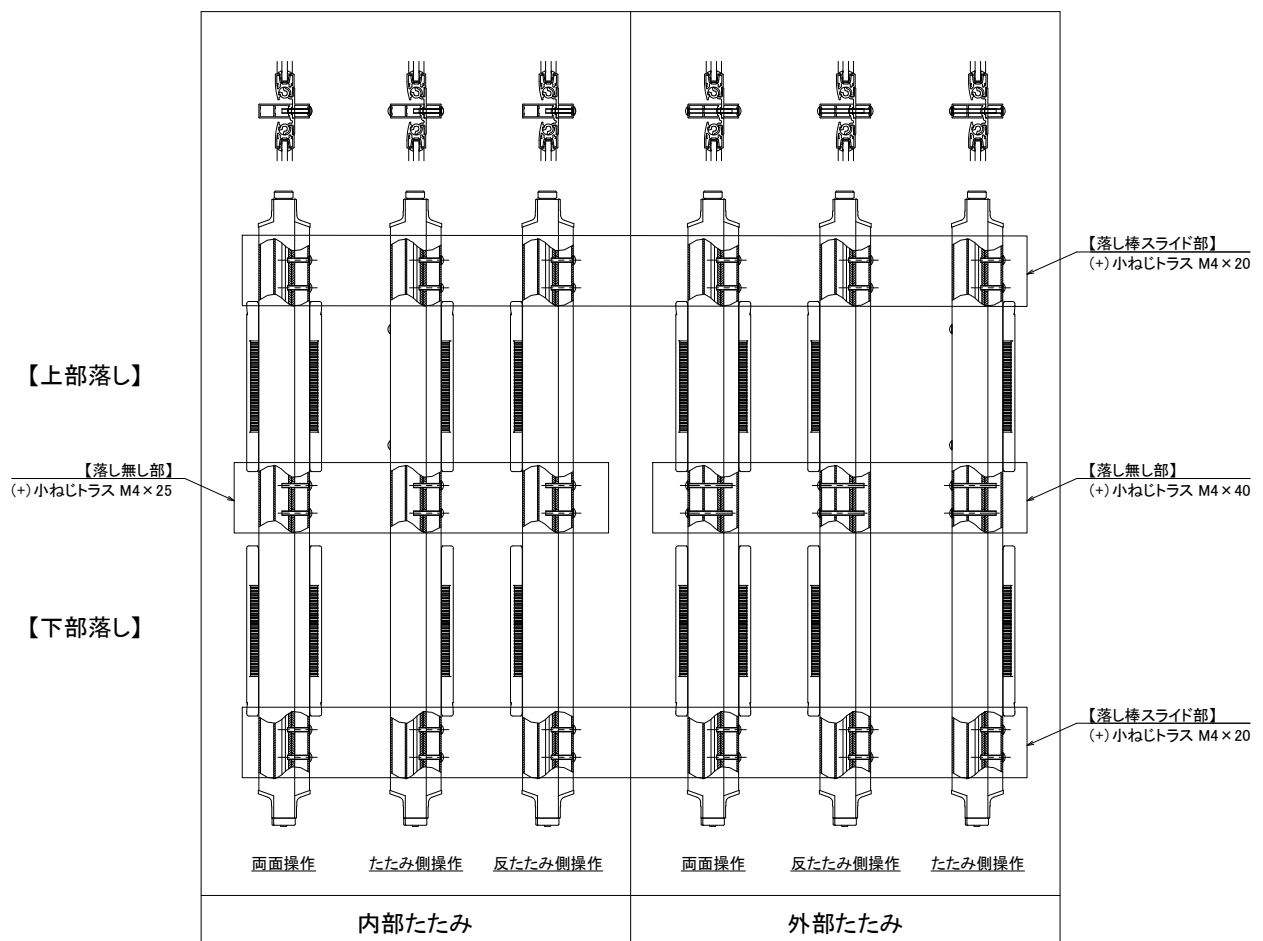
- ・ 連結の際は、吊元側扉と引手側扉のジョイント部が下図のように、組合っていることを確認してください。
- ・ 扉連結は、必ず手回しドライバーを使用してジョイントしてください。

電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

注意 電動ドライバーを使用した場合、ねじの締付けが出来ない場合があります。



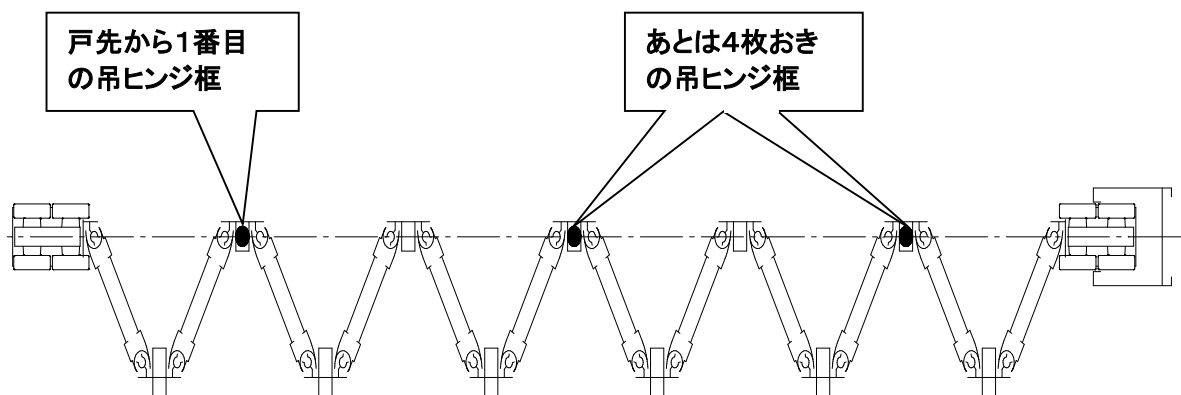
扉の連結は、内部たたみ・外部たたみ・落しが付く場合で連結が異なりますので注意してください。



3 落しツボの取り付け

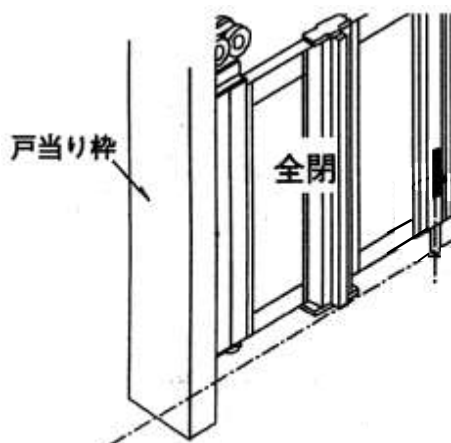
下部落し棒の位置

- ・下部落し棒は、下図の位置に取り付いています。

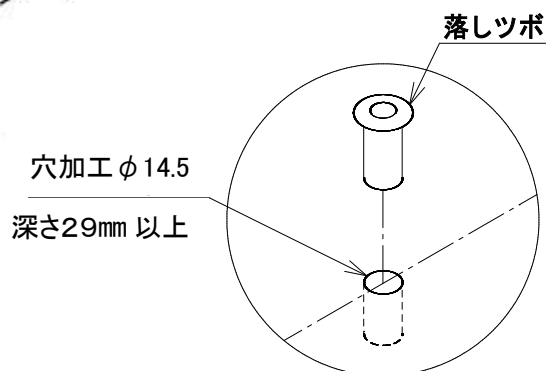


落しツボの埋込み

- ・扉を全閉し、吊ヒンジ框の下部落し棒と枠芯の交点を出してください。
落しツボ位置に $\phi 14 \times 29$ 以上の穴加工をして、落しツボを埋込んでください。



※ 引分けの場合も同様におこなってください。

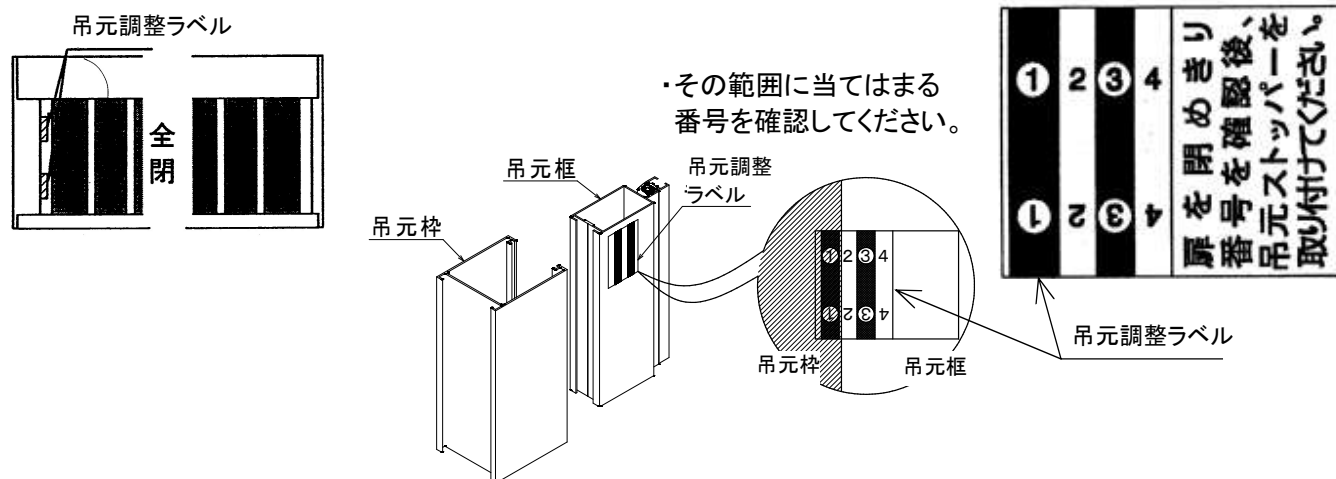


注意 落しツボの取り付けの際は、落しツボが浮かないようにしてください。

4 吊元ストッパーの調整

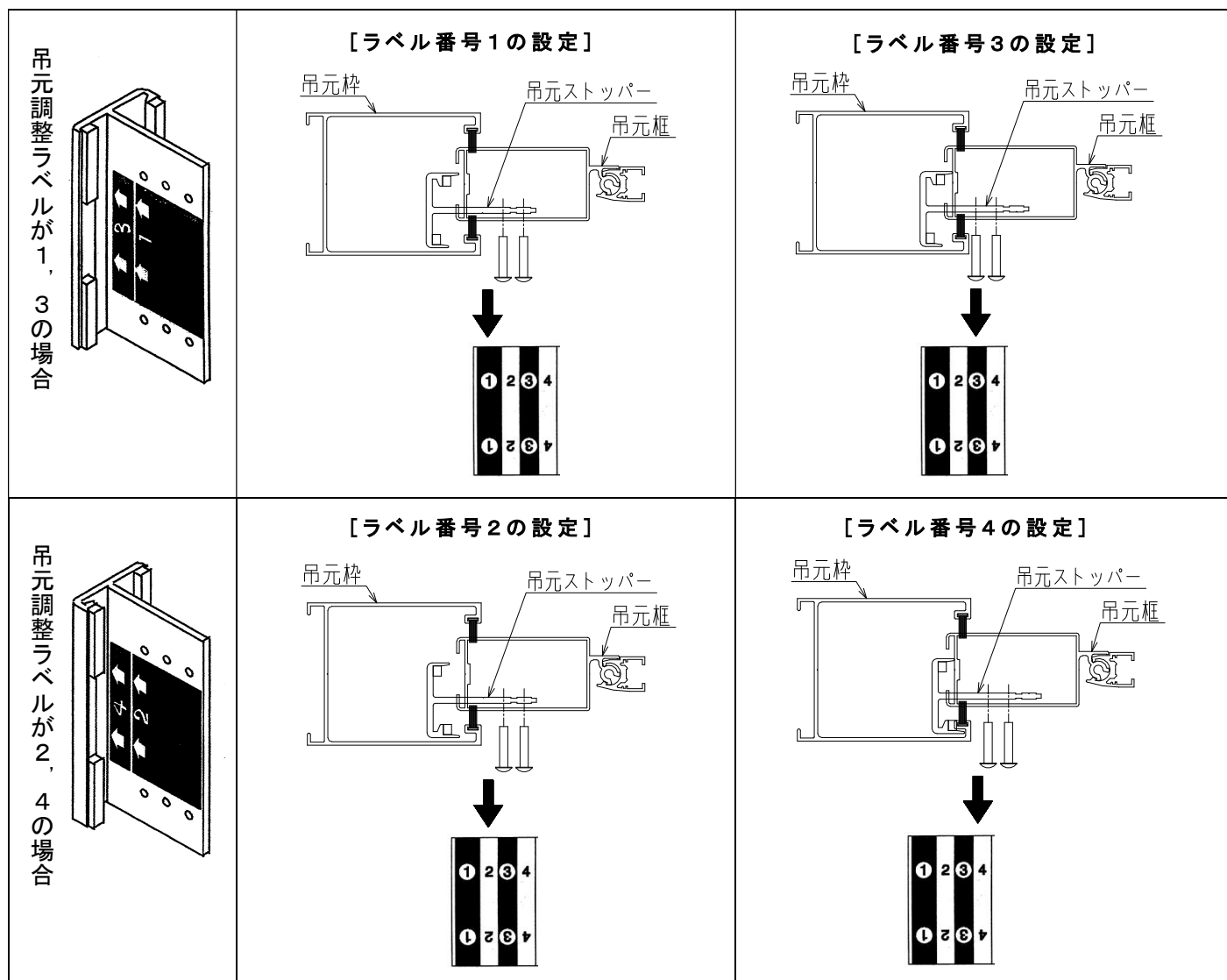
■ 吊元ストッパーの調整ラベル

- ・ 扉の吊込み、扉の連結後に全閉状態にし、上部落しと下部落しをセットしてください。
- ・ 全閉した時、吊元枠と吊元枠の重なり位置を、上下に貼付けてある吊元調整ラベルにて確認してください。
- ・ その範囲の番号によって、吊元ストッパーの取り付け位置を決定してください。



■ 吊元ストッパーの位置

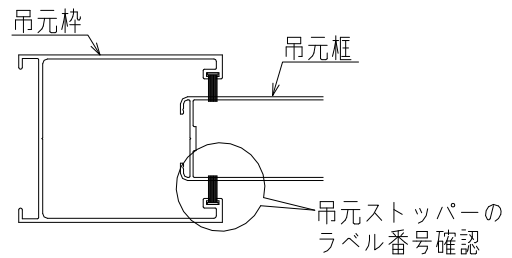
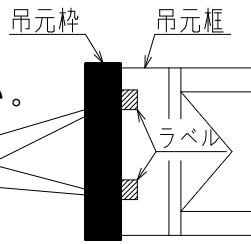
吊元ストッパーの取り付け面に注意してください。



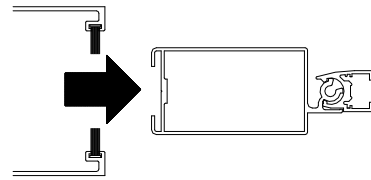
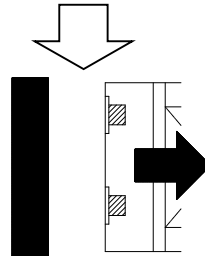
■ 吊元ストッパーの取り付け

- ① 前ページの図を参照して
上下とも吊元ストッパーの
ラベル番号を確認してください。

上下とも吊元ストッパーの
ラベル番号の確認を行って
ください。上と下で番号が
違う場合があります。

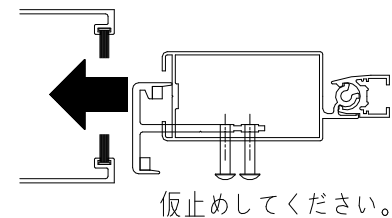
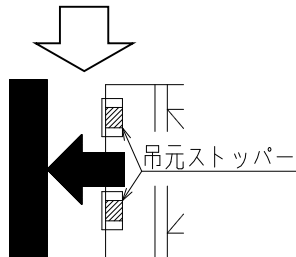


- ② 一度吊元枠より吊元枠を外してください。

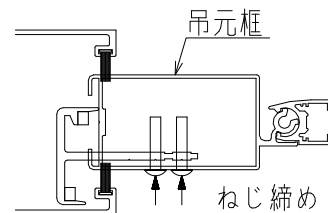
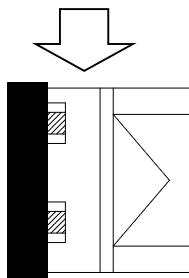


- ③ 吊元ストッパーを(+)小ねじトラス
M4×20 4本にて仮止めし、
再度吊元枠に入れてください。

注意 ねじを締めすぎると吊元枠に
吊元ストッパーが入り難くなります。



- ④ 仮止めされた吊元ストッパーの
ねじを締めてください。

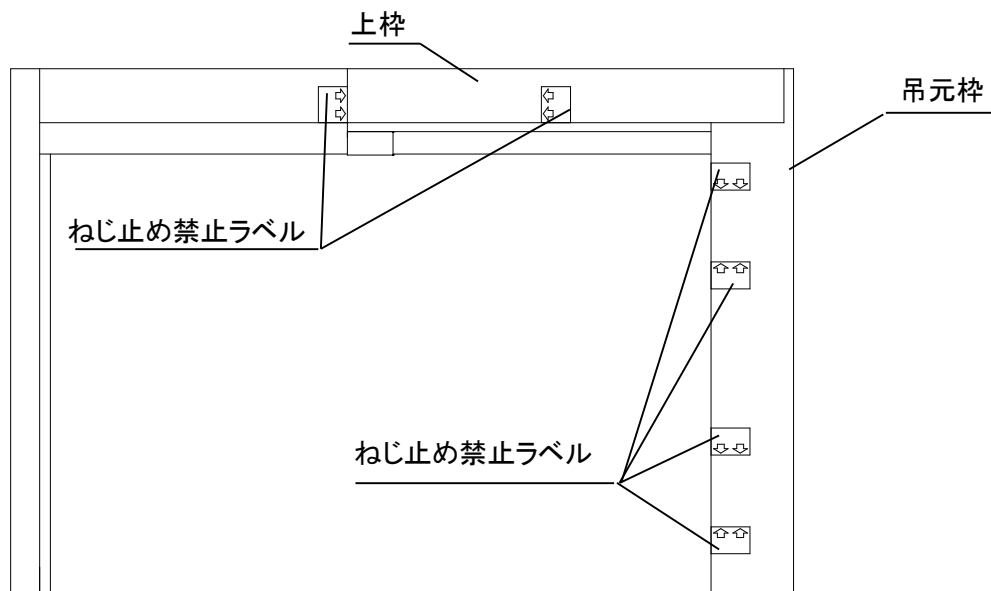


- ⑤ 最後に吊元調整ラベルをはがしてください。

5 ねじ止め禁止ラベルの取外し

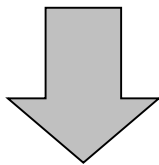
ねじ止め禁止ラベルが貼付けてある場合は、ラベルをはがします。

※ねじ止め禁止ラベルは、枠の両面に貼付けてありますので、両面はがしてください。

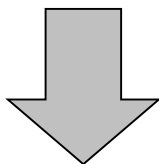


□施工後の点検

取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。

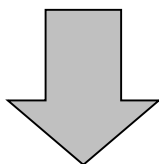


本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。



扉の開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 扉が完全に折りたたむこと。
- ・ 落しが完全に掛かること。
- ・ 納まりストッパーが正常に動作すること。



錠のかかり具合を調整のうえ、お施主様に鍵と取扱説明書をお渡しください。

